



学校・図書館  
病院・ターミナル



<施設の概要>  
所在地：北海道名寄市東8条南8丁目117番  
建築面積：6,623.41㎡ 延床面積：6,388.28㎡  
構造・規模：RC・SRC・S・CB造、平屋建  
施主：名寄市  
監督：名寄市  
設計・監理：磯久米設計 札幌支社  
施工：建築/建築主体その1：大野士建・伊藤組土建特定建設工事共同企業体  
建築主体その2：大野組・高橋特定建設工事共同企業体  
建築主体その3：坂下組・竹中特定建設工事共同企業体  
電気/電気設備その1：末廣屋・伊藤・竹内特定建設工事共同企業体  
電気設備その2：北弘電・新光・北陽特定建設工事共同企業体  
竣工：平成14年2月

## 生活環境に応じた快適性と機能性を兼ね備えた照明計画を展開

「心地よい家庭的な雰囲気のある住まいづくり」をテーマにして

「清峰園」は住居棟、デイサービスセンター、地域交流センターなどからなる特別養護老人ホームです。「入居する人の側に立った住まいづくり」を基本理念とし、明るく、活気があり、心地よい家庭的な雰囲気のある住まいづくりを目指しています。建物は自然を取り込む平屋建てとし、四季折々の変化や採光、通風など自然の要素を積極的に取り入れ、生活に潤いを与えると同時に、省エネにも配慮した計画となっています。平面計画は10人程度の小グループで構成した北海道最初のグループケアユニット方式が採用され、グループごとに団らんや食事など基本的な日常生活がおくれると共に介護者の負担を軽減しています。

照明設備は直接照明を主体に、くつろぎのスペースには調光照明を施し、生活環境や職務環境に応じた快適で機能的な照明計画が行われています。グループケアユニットの談話コーナーは、ハイサイドライトが設けられ天井両側より柔らかな自然光と通風を採り入れ、意匠天井には32W Hf蛍光ランプ2灯用ルーバ付埋込器具と調光のできる60W形白熱電球ダウンライトを組合わせてくつろぎ感を高めた光環境をつくり出しています。

様々なイベントが催される地域交流センターは、7列のスリットを設けた高天井となっており、照明はこのスリット内に250Wハロゲンランプと42Wコンパクト形蛍光ランプ3灯用のダウンライト(電動昇降装置付)を交互に配置し、壁スイッチによる点灯パターン制御でイベントの種目に応じた演出が行えるようにしています。

一般浴室の照明は本体にステンレスを使用した40W蛍光ランプ(昼光色)2灯用防湿形の天井直付器具と60W形電球防湿形ブラケットを採用し、明るく、和やかな雰囲気をつくり出しています。

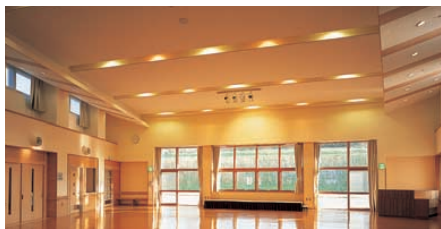
### 照明コンセプト

Lighting design concept

自然光を積極的に導入し、生活環境、職務環境に対応した快適な照明環境と、調光による機能性を兼ね備えた照明計画の展開



グループケアユニット談話室の照明：ハイサイドライトで採光と通風を採り入れ、照明は32W Hf蛍光ランプルーバ付埋込器具と調光のできる60W白熱電球ダウンライトを組合わせて小規模なイベントに対応することができるように配慮



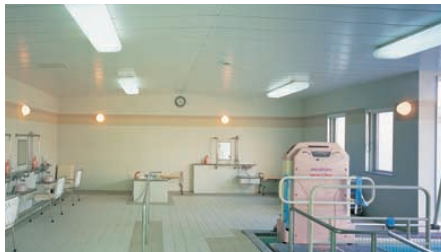
地域交流センターの照明：天井スリット内に250Wメタルハライドランプと42Wコンパクト形蛍光ランプのダウンライトを交互に配置



エントランスホールの照明：36Wコンパクト形蛍光ランプ2灯用埋込スクエア器具を設置



住居ゾーン廊下の照明：27Wコンパクト形蛍光ランプダウンライトを採用



一般浴室の照明：32W Hf蛍光ランプ2灯用直付防湿形器具と60W形電球防湿形ブラケットにより和やかな雰囲気を演出



共用ゾーン廊下の照明：27Wコンパクト形蛍光ランプダウンライトを壁側に近づけて、ウォールウォッシュを兼ね合わせた照明効果をつくっている

### 主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
グループケアユニット	埋込器具ルーバ付	FHR-42861N	149	32W Hf蛍光ランプ×2
	白熱灯埋込器具	ID-7800N	168	60W形電球
地域交流センター	ダウンライト(電動昇降装置付)	DDU-257-100	8	250Wハロゲンランプ
		特注	15	42Wコンパクト形蛍光ランプ×3
廊下他	ダウンライト	FLD-2790M(V)	433	27Wコンパクト形蛍光ランプ
一般浴室	直付器具	FT-42850-RS	16	40W蛍光ランプ×2
	白熱灯ブラケット	IB-3992	22	57Wミニクリプトンランプ